

あったかいまち「ふじみ野」を目指して タウンミーティング
日時 平成26年11月8日(土) 19時30分～21時30分
会場 大原自治会館(大原自治会)
天気 曇り

参加者 45名



主な意見等

参加者 市長から防災の話もありましたが、公共施設であるサービスセンターやフクトピアが避難所となるかと思いますが、インターネットやWi-Fiの設備についてこれから検討する考えはあるのでしょうか。

上福岡ココネを利用していますが、インターネットの設備が整っていません。その話をどこにすればよいのかと思い、タウンミーティングに参加させていただきました。

施設はいくつかあると思いますが、ココネのインターネットの設備について考えていただけないでしょうか。

市長 ご要望の内容は広報広聴課が担当していますので、ご意見として承っております。

限られた財源の中で進めておりますが、ココネは市の出張所も併設されています。災害時でもそのような機器が使える状況ならば可能ですが、人命の救助や避難者の居場所づくりが優先順位として高くなりますので、今のご要望も、可能な限り着手される状況となりましたら、有効な手立てとなりますので、ご意見として頂戴します。

参加者 公立保育園について、2園の耐震構造が弱いということで閉鎖されると思いますが、地方債を使って再建築することはできないのでしょうか。

市長 公立保育所には大きな課題がありまして、国の制度上、今、公立保育園の補助は一切ありません。つまり、建設をするときの補助や運営に対しても国からの補助がありません。国の方針は民間活力の導入ということで、民間の

に運営していただくというものです。誰でも勝手にやれるということではなく、県の認可が必要となりますが、認可保育所という公的に認可された施設を増やしていく流れとなっています。

ふじみ野市としては公立保育所を継続していくという方針は基本的に無いというのが大前提です。

このような中、今のご質問のとおり、耐震性の弱い保育所がここで新たに判明しました。

耐震性が弱い保育所の中でも、民間の方の土地や建物をお借りしているような施設が、今回廃止を決定した2園でございます。

民間の方が所有している建物ですから、当然のことながら、所有者の負担で直さなければいけないというのが第1の課題となります。さらに公立保育園として建て替える場合、あの規模で1園作るとなると、概算で2億5千万円程度が市の支出となります。

ところが民間で認可保育所を建てるときには、国や県からの補助金がありますので、市の持ち出しは約5千万円で済みます。

そこで、待機児童対策を考えて、民間の認可保育所を増やしていく、来年の4月、再来年の4月も3園くらいは増やしていきたいというのが政策上の私の考えです。

来年、既存のところが認可保育所に昇格するのにあわせて、3園開設して、283名の定員増を考えていました。ところが、市立保育所の耐震性がないということになり、耐震性がない市立保育所の子どもたちを新たに開設される民間の認可保育所に移っていただくことにしました。

283名分の待機児童解消をしたかったのですが、耐震性のない危ない施設を使うのは良くないということで、ご質問の結果になったところです。

今後も認可保育所は増やしていくつもりですが、公立保育所のうち、市で持っている場所は耐震補強をするところもあります。ただ、どうしても権利形態の問題で、市から直接手が出せない部分については、認可保育所の安全な施設に移っていただくということを市の方針として決めました。

私も2人の子どもを保育園で預かっていただいていたので、慣れたところから違うところに移るのはつらいという気持ちはわかります。ですが、多くの市民の皆さんの税金を使って保育サービスを提供していることを考えると、そこで事故があっては元も子もなくなってしまいますので、安全なところに移っていただくという手立てでございます。

参加者 新河岸川の遊歩道を今年の6月1日に自治会として利用させてもらいましたが、「蜂がいて怖い」という報告がありました。

市として、活動を始める前に駆除することはできないのでしょうか。

市長 時期によりますが、発見されれば我々の方で駆除することはできます。

市の方でも遊歩道沿い、特に法面については樹木の影響で崩れかけるなどいろいろな問題もあるので視察をしますが、市民の皆さんのお力もお借りし

ながら、「ここは危ないぞ」というお声がけをいただければと思います。

参加者 昨年度、イトーヨーカドー周辺の緑道についてお話しした件です。
今、新築した家が3軒建っていて、このほど放火事件があったところですが、そこがとても暗く、敷石が敷いてあり道路の段差がある状態です。
そこを直していただくようお願いしたのですが、その後全然やってくださりません。
家が新築された関係で、これまで街灯が1つ点いていましたが、街灯が消えてしまい、緑道を入るところの入り口も真っ暗です。
私たちは買い物だけでなく、災害の際もその道路を利用するところですのでもう少し対策を講じてもらえないでしょうか。緑道には電気は付いていますが暗いので、もう少し明るくしいただけないでしょうか。
道路もカーブになっているので、見えづらくて転んだという話も聞いたことがあります。
植木が伸びてくると、人の通りが見えなくなります。裸の不審者がいたという話も聞いています。もう少しきれいに植木を刈って、見えるようにしてもらわないと危険です。
道路をもう少しきれいにしていただけないか、明るさも対策していただけないかについて、昨年お願いし、私も立ち会いましたが、その後「電話します」ということで、そのままになっています

市長 街路灯や防犯灯の近くにお住まいの方からは「明るさを何とかしてほしい」というように、周りに住んでいる方への影響もあると思います。
今回の案件は、周りのかたが言ったというものではありませんが、周りに対する影響も考えながらも、安心安全が大事ですので、早速現場を夜や昼間に確認し、今後どこまでの対策が可能か検討したいと思います。
歩道に関連して、別のタウンミーティングで言われたことですが、駅前のサンロードの歩道部分が通常の平らな歩道ではなく、少し溝がついていたりしますが、そこをお年寄りが歩く際に使う乳母車のようなものが通るとガタガタと音がしたり、つまずいたりするので何とかしてほしいといった話がありました。作る際には周辺の方からは、現状のようにしてほしいということで、こうなったらいいなと思って作ったものが、逆効果になってしまっていることもあります。
いろいろな場所で要望・苦情は聞きますが、最小限皆さんのご要望に沿うように、特に危険個所については、障がいのある方のことも考え、優先順位をつけながら行います。さっそくその現場を見に行きます。

参加者 大原2丁目の消防の水圧の件です。
10年以上前の火事の時も水圧が低くて、火が広がったということでしたが、2月の火事だと思いますが、水圧が低くて遠くの方から引っ張ってきた

と聞きました。実際に災害が起きたときに心配な部分があります。

2月の時には、30分くらい前に消防車が到着していましたが、繋がらなくて、遠くの方で繋いでも、「水が出ない」というような怒鳴り声が聞こえたところの方が言っていました。

特に大原は入り組んでいるので、直線でいけばすぐ消火活動ができるのですが、大きな水圧のところから水を持ってくるにはものすごい距離が必要となります。

市長 消防本部に確認します。場所については、後ほどで教えていただきたいと思います。

通常、消防車が繋ぐのは、道路にある例えば四角い鉄板であったり、あるいはプラスチック型の小さな箱のようなもので、道路の下にある水道管から消火栓として出しています。

点検していますが、点検の際に、元のバルブを閉めるため、開け忘れていると水が出なくなることがあります。ですが、消防隊ではそのようなことは分かっているはずですので、水圧が弱かったのだとしたら、なんとかしなければなりません。何らかの欠陥があるのなら、早急に修繕しなければいけません。

私も消防団を20年間やっており、大原の火災も経験がありますが、すぐ近くなのに、ホースを何本もつなぐような経験を何度もしました。

参加者 来年の成人式の日でもよいのですが、どこの地区も二十歳前後の大学生はたくさん居ると思いますが、大原で消防団に入っている人は誰もいません。このたび、消防団という話を今活動されている方にも聞いて、うちの子どもたちも興味を持ちました。若い人が集まる時に、そのような話をさせていただきたいと思います。

年寄りと子供たちだけを大事にするのではなく、中間層の世代を上手に活用してもらいたいと思っています。

保育園も大事かもしれませんが、担っていただけの方を育ててほしい、そのようなことが本当の子育てであると思います。

運動会も、年寄りと小さい子しかいません。肝心となる、担ってもらえる子どもたちがいません。市のメンバーだけで何かをやるのは、絶対に上手くいかないの、うまい具合に、子どもを引っ張ってもらいたいと思います、

市長 貴重なご意見、素晴らしい提案だと思います。

私も強く感じる場所ですが、まさに市民の皆さんの立場では、若い人材は地元の貴重な資源です。

成長期で地域の担い手になっているということを実感させることも、子どもたちに対する素晴らしい教育の一つです。

ご指摘のあった、スポーツフェスティバルのときも、3つの中学校の生徒が、ボランティアで協力してくれていました。そこだけみても「いいな」と

思います。

私からも地域の盆踊りや行事ごとの際に、できれば地元の中学生くらい年齢の方にお手伝いをしていただけるといいなど、町会の人に言いましたが、「怪我した時の保険はどうするのか」と言われ、ジレンマを感じています。

一番大事な部分は、地域の担い手として自分たちの存在価値を子どもたちが実感してもらえそうな「場づくり」です。

消防団からも、団員が不足しているので、成人式の時に話をするという意見も出ていましたので、なんとか実現できるようにがんばりたいと思います。

参加者 だいぶ先の話となりますが、デニーズのところ大きな店舗ができるのは決まったのでしょうか。そうすると、ヨーカドーがどうなるかと心配です。と言うのは、ヨーカドーに防災倉庫を置かせていただけていますが、もしも防災倉庫を移動する必要がある出てきても、移動するところがありません。大原公園に置かせてもらえると助かります。

市長 日本無線の跡地ですが、いろいろな噂話が出ているかと思いますが、現状、イオンタウンという企業が土地を買いました。

イオンタウンが開発を計画していますが、土地の用途が工業系なので、今の状況ではすぐ開発できないということで、現在見直しを始めています。工事が始まるとしても1年半や2年先くらいと考えています。

一番肝心な大原自治会の防災倉庫ですが、私が市議会議員の時代に、議会で質問して、大原公園が都市公園だから設置できないということならばヨーカドーさんの敷地に置かせてもらえないかと、会長さんと一緒になってヨーカドーさんの本社に掛け合い、支店長にも理解していただき話が進みました。

私としても思い入れがありますので、万が一、ヨーカドーさんがどうにかなったとしても、これは市長としてというより個人的に体を張って何とかしたいと思います。

ただ、大原公園を使えるかということ、法律上の問題があり制約があるので、むしろ道一本離れますが、イオンさんをお願いするなど、いろいろな方法を考えて頑張ります。

(閉会時)

市長 今日はこの後に自治会の会議もあるということなので、通常でしたらあと30分くらいは質疑応答の時間をとらせていただくのですが、これで終了させていただきます。

先ほど保育園の話もありましたが、市内の道路、公園、図書館は、市役所のものではなく市民の皆さんの財産です。それを維持していくためには、皆さんの税金をお使いするのが第一の基本です。

現在皆さんの税金を使ってお子さんを預かる際に、国の制度に基づき効率的に、少しでも大勢の皆さんの子育て支援をしていくとなれば、その方法論

は選択せざるを得ないと思います。

時間が経つと風化してしまいますが、平成 18 年に流水プールで事故がありました。あのとき、安心安全が一番だということは全ての市民が感じたと思います。ふじみ野市は、全国の自治体の中で一番安心安全を目指さなければならない自治体です。

つらい苦しい決断ではありましたが、認可保育所を民間の力をお借りして整備し、耐震性が不足している市立保育所から安全な認可保育所に移っていただくとともに、少しでも多くの待機児童を減らしていきたい、このことを目指してがんばっていきたいと思います。

今日はこの後、予定がある中で皆さんには貴重なお時間を割いてご参加いただきいただきありがとうございます。

言い足りなかったこと、家に帰って思い出して、言っとけば良かったと思ったことは、広報広聴課あるいは秘書室でも結構ですのでご連絡いただくか、お越しく下さい。

また改めて時間をとることも考えていますので、今後ともどうぞお気づきの点がありましたら、皆様方のご意見を市政に反映することが一番だと思しますので、よろしく願いいたします。

今日は大変、ありがとうございました。